百名っ子

〈 学校教育目標 〉
目標を持ち自ら学ぶ子
心豊かで決まりを守る子
健康でたくましい子

令和２年11月５日
第12号
校長　仲村　保

これからの授業の在り方

先月二十三日（金）に、算数授業改善研究会を行いました。授業者は担任と五年一組の子ども達。算数でパソコンを用いた「プログラミング的思考」という指導の観点を取り入れた授業でした。「プログラミング的思考」とは、解決すべき課題に対し、思考錯誤しながら正しい解決方法を考えるというものです。解決に至るためには正しい手順でなければならず、そのことによって論理的思考力を鍛えるのです。授業では、課題に対し、ペアで「協力して」、「意欲的に」、「粘り強く」取り組む姿が見られました。「　」で示した姿は「学びに向かう姿」として捉えられ、基礎学力の定着とともに、これからの時代を生き抜く力として、その育ちが重要視されています。菅野先生、５年生のみなさん、お疲れ様。

パソコンを利用した解決場面

課題解決の為の一斉での確認

授業後の研究会

多くの参観者が来校しました

校長室から～「Society5.0」って？～

保護者の皆様も「Society5.0」という言葉を聞いたことがあると思います「人工知能、ビックデータ、IoT、ロボティクス等の先端技術が高度化してあらゆる産業や社会生活に取り入れられ、社会の在り方そのものが劇的に変わる」ものとされ、農耕社会だったSociety2.0から産業革命を経て興ったSociety3.0の工業化社会がもたらした劇的な社会変化に比べても、比べようがないぐらい社会変化をもたらすと予想されています。このようなSociety5.0の社会で求められている「力」として、①文章や情報を正確に読み解き、対話する力②科学的に思考・吟味し活用する力③価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心、探求力が必要であるとされています。（Society5.0に向けた人材育成に係る大臣懇親会　省内タスクフォース）また、このような劇的な変化がもたらす未来が見通しにくい時代に生きる「力」として「創造的な課題発見・解決力、つまり取り組むべき課題を自ら設定し、未来を見据えて有効な解決策を創り出す力である」としています。（経産省「未来の教室」ビジョン）何か難しいことが書かれていますが、右の5年生が6年生の給食を準備した判断力・協働性・行動力などの現れがそういった力なのだと思います。小学生においては、自分たちの周りで何か解決すべき課題がないか、課題があれば、どうすればよいのかを考え・行動する力の積み重ねを体験を通し学ぶことによって培っていくのだと思います。そういう意味ではこれから求められる力を発揮したのです。

スポーツ・デー

今週、日曜日は「スポーツ・デー」。新型コロナウイルス感染防止の為に、例年とは違った取り組みとなりますが、児童会が考えた「ソーシャルディスタンス！でも心は一つ、笑顔いっぱい最後まで」をテーマに、各学年、工夫を凝らした演技種目の練習を頑張っています。五・六年生がエイサーの練習をしていた時、見ていた三年生が曲に合わせて踊ったり、獅子舞の真似をしました。先輩のエイサーを踊る姿に憧れているのです。五・六年生のみなさん、コロナを吹き飛ばす演技を期待してます。また、一・二年生の玉入れは、自分たちで考えた振り付けで踊ります。三・四年生も千変万化の時に、ハッスルしてダンスをします。お楽しみに。

ステキな五年生

先月三十日、六年生が博物館・美術館見学に行きました。帰校時間は十二時三十分予定。給食を食べ始める時間に帰校となります。準備のことが気になり六年生の教室に行くと、五年生が給食準備をしていました。話を聞くと準備した方がいいと自分達で判断し準備したそうです。素晴らしい話です。このような力が大切です。

喜納　翼さんの講話

先月二十七日に車いすマラソン日本記録保持者の喜納選手が三・四年生に講話をしました。超前向き思考の喜納選手から子ども達は多くのものを学びとったと思います。人への感謝は勿論、「もの」への感謝の言葉があったのも喜納選手らしいと思いました。とても素敵な生き方をしてます。私も喜納選手から元気をもらいました。

新職員紹介

九月十五日から新しく市費事務職員として　さんが勤務しています。保護者の皆さまにお知らせが遅くなりましたが宜しくお願いします。